夕刊 臺灣日日新報 十月七日

マレーの交通行政 本格的軌道に乘る

戰前凌駕の鐵道輸送量

交通部長談

一、鐵道

二、道路

三、自動車

四、海運

五、其の他

米戰艦(ミシシッピー型)を撃沈

伊潛艦、大西洋に殊勳

【ローマ七日發同盟】

英兵千八百乘船の りすぼん丸沈沒

東支那海で 米潛艦の襲撃を受け

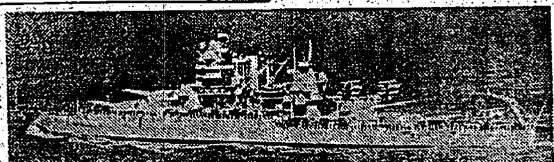
【上海七日發同盟】

米海軍の盲行動

四千馬力の發動機製作へ

米研究所活動

【ブエノスアイレス五日發同盟】



スターリン言明問題

ルーズベルト言明拒否

【ブエノスアイレス六日發同盟】

滿國高官六氏に勳章御贈與

【東京電話】

樞府本會議

【東京電話】七日の樞密院會議

ルーズベルト獨裁の相貌(下)

泥繩的な統制經濟

生産力增强懸命の努力

工場と農村の對立

農村議員團の主張

統制實施は必至

米統制經濟の脆弱性

駐ソ米大使急遽歸國

微妙米ソ關係打合せへ

【ストックホルム六日發同盟】

スターリン聲明に米英側説明を求む

【リスボン五日發同盟】

ソ聯慰撫の工作

米英援ソ資材檢討會議

ス市攻防戰激烈化

【リスボン六日發同盟】

ヴォルガ河にも獨潛艦活躍

【ベルリン六日發同盟】

英國民の生活窮乏

倫敦放送米國に訴ふ

【ベルリン五日發同盟】

貨車を大量整備

戰時陸運、鐵道省の方針

【東京電話】

陸運能力最高度へ

國民高度の協力要請

東地中海、獨伊優勢

聯合國の海上連絡危殆

【イスタンブール六日發同盟】

鄭駐泰滿洲國公使 晴の赴任の途に

【新京七日發同盟】

三省交流人事

【東京電話】

無絃琴

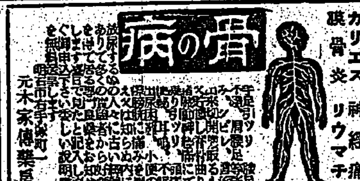
内閣辭令

【東京電話】

内務辭令

【東京電話】

人事



せきずゐ カリエス 神經痛 膜骨炎 リウマチ
元木家傳藥房

イースト菌は病弱を蘇活し强壯體を造る

人類は微生物に支配される

本文の標語として「人生は微生物に支配される」とあるが、この標語は有意義である。

人體 何百何千種の病原菌は、いづれも微生物の一種であるが、一方我等の生活必需品たる味噌醤油・酒、すべて微生物の一種たる醗母菌の有益なるはたらきである。

イースト菌は强力なる酵素力を有する一種の微生物であつて、これをのむと、胃腸の食物が面白くこなれ榮養がグイグイと進む。イースト菌の新鮮品は酵素力以外にその特殊なる蘇活力が人體に作用して老廢細胞をのぞき新陳代謝の機能を昂め病弱體は旱天に慈雨を得たごとく生き生き甦がへる。

肺 助膜になやむ人々や胃腸病で困つてゐる人、其他ドコともなく體力の脆弱なる人々の蘇活原として御奨めしたい。

イースト菌研究所

シドニー強襲四勇士

烈々の忠魂、敵國震撼

四基の英靈無言の歸還

【東京電話】日本海軍特殊潜航艇はさる五月三十一日月明の夜、敵豪洲の要港シドニーを強襲して敵大艦艇一隻を撃沈した後、悠然として散つた第一次特別攻撃隊中の四勇士は、今は無言の英靈として歸還し……

一億 國民は感激に打たれ……

最惡 の事態に直面した……

忠魂 を祀し、君がため勇……

勇氣 は一段と……

濠洲鄭重な海軍葬

四勇士を稱へる敵將

【東京電話】……シドニーを攻撃……

戰死 した日本勇士の遺體を……

出撃 命令は遂に下つた……

邦人 交換船シティ・オブ・カンタベリー號がメルボルン出帆……

日本 潜水艇二隻を撃沈……

賞詞授與式の寫眞

督府　全島各教育所に配布

軍事啓發　時局認識講演會

あす　大稻埕第一劇場で開催

遺家族に温い情

軍人援護週間に美談二つ

アリューシャン從軍日誌 (二)

☆浜田・深沢陸軍報道班員☆

見事奇襲上陸に成功

投彈さへ忘れ米機逃去る

六月〇〇日　來る日も來る日も……

アリューシャン便り

志願兵訓練生湖口へ

逞しく育つた若人

沿道送迎の父兄知友感歎

湖口 の訓練所へと移り……

充滿 して居るのだ……

息子 ……

官有林燒く ……

老婆の差出す五圓札

各驛頭に感激譜の數々

人間生活の總仕上げ

石川訓練所長意義を語る

生活 ……

國民體育錬磨が主眼

全島國防訓練大會に就て

荷重强行軍の卷

繼走の卷

自轉車競走の卷

職場運動の卷

臺北孔子廟祭

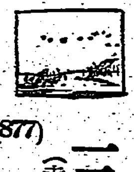
齋藤長官參列

老人の輪禍 六日午後……

三國志

(赤壁の卷)　吉川英治作　矢野橋村畫

(877)



和　議 (一)

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

緬甸に武勳

櫻井、渡邊兵團に感狀
畏し上聞に達せらる
英印軍、蔣介石軍を擊滅

【東京電話同盟】密林、ジャングル、瘴癘、疫病を克服して英印軍及び蔣介石軍を殲滅、新生ビルマ建設の礎石を築いたビルマ作戰に櫻井兵團及び渡邊兵團に授與された二つの感狀が今回畏くも上聞に達し陸軍部隊將兵は無上の光榮に輝いた、ビルマ作戰の絶大な戰果は主として櫻井、渡邊兩兵團及び同配屬部隊の敢鬪に負ふと言つても過言ではない、卽ち櫻井兵團は踏破實に二千五百キロタイ、ビルマ國境を突破してラングーンを攻略、更に北進して英印軍に最後の止めを刺し又渡邊兵團は快進一千七百キロ、北部ビルマ作戰の右翼部隊として蔣介石軍の退路を遮斷し北部ビルマ[illegible]部隊である、なほビルマ作戰地上部隊の感狀 上聞に達したのは今回が最初である

【陸軍省發表=十月七日午後四時】 緬甸作戰に於て武功拔群なりし櫻井兵團同配屬部隊及び渡邊兵團、同配屬部隊に對し曩に同方面陸軍最高指揮官より感狀を授與せられしが今般畏くも上聞に達せられたり

感狀
櫻井兵團、同配屬部隊

右はビルマの進攻作戰開始せらるるや、泰緬國境の峻嶮を突破し密林叢林の下幾多困難なる地形を克服して敵の抵抗を排除しつつ急進しシッタン河畔に英印軍の退路を遮斷してこれに殲滅的打擊を與へ一擧ラングーンに迫りて三月八日これを攻略せり次で軍の北進を開始するやイラワヂ河畔に作戰し或ひは炎熱の下日夜猛進擊を續行して大なる機動力を發揮し或ひは敵を[illegible]し常に敵の不意に乘じ隨所に敵の退路を遮斷してこれを徹底的に[illegible]し更に[illegible]の鋒を挫ひて克く優秀なる敵機甲部隊を破碎せり、更に殘敵を急追してカレワ以北タマンテイ附近に至するチンドウイン河の線に敵を急追してその餘喘を絶てり、此間踏破せし行程は實に二千五百キロに及び幾多偉大なる戰果を收めて遂に英印緬支の聯合軍を潰滅し軍の企圖せる作戰目的完遂に寄與せり

斯の如きは兵團長の果斷にして卓越せる統帥指揮の下、上下克く[illegible]を保持し必勝の信念に燃えて旺盛なる攻擊精神を發揮せる結果なりと謂ふべくその武功は拔群なり仍て茲に感狀を授與し之を全軍に布告す

昭和十七年六月十五日
緬甸方面陸軍最高指揮官 飯田祥二郎

感狀
渡邊兵團、同配屬部隊

右は北部ビルマの作戰に方り軍の右外翼に在りて遼大なる[illegible]の下に[illegible]するや四月一日トングーより東進してシッタン山系に入り天然人爲の障碍を克服してシャン高原に進出し[illegible]敵車部隊の快速を利用して果敢なる進擊を敢行し[illegible]敵部隊を隨所に殲滅してこれを追擊前進し四月二十九日[illegible]ラシオを攻略して滇緬公路を遮斷し敵軍主力をしてその退路を他に索むるの餘儀なからしめ、更に[illegible]を越えて怒江の要點を確保し又遠く敵を急追して北邊の要衝ミートキーナを占領し軍の企圖せる大包圍態勢を構成して[illegible]作戰の根基を確立せり、この間[illegible]に四旬を出でずと謂も[illegible]その敵を破せる[illegible]せる行程は實に一千七百キロに達す、斯の如きは兵團長の[illegible]して卓越せる統帥指揮の下、上下克く[illegible]なる攻擊精神を發揮せる結果なりと謂ふべく[illegible]仍て茲に感狀を授與し之を全軍に布告す

昭和十七年六月十五日
緬甸方面陸軍最高指揮官 飯田祥二郎

峻嶮突破二千五百粁
皇軍攻擊精神の精華 櫻井兵團

【東京電話同盟】櫻井兵團[illegible]二千五百粁櫻井兵團はビルマ作戰開始當初から第一線兵團として[illegible]方面を擔任英印軍特にインドから來援した機械化部隊を相手に[illegible]その大部分を殲滅他はインド、ビルマ國境外に驅逐したのであつた、この兵團の作戰の特徴は[illegible]な機械化部隊に對し[illegible]を克服[illegible]しコレラ猖獗地帶を突破して廣大な地域に作戰し多大の戰果を擧げたことでビルマ作戰に於ける[illegible]の過半數は同兵團の手に依るものである、櫻井兵團は二月初旬大東亞戰爭[illegible]作戰の華々しい戰果を收く[illegible]つタイ、ビルマ國境の[illegible]サルウィン河畔に於いて第一線に加入してから[illegible]外翼に行動し英印軍の退路を絶えず脅威しつつ作戰を遂行したラングーンに至るまでの大戰鬪は

(一)シッタン河畔の戰鬪
(二)ラングーン攻略戰

の二つで[illegible]とも英印軍の退路[illegible]しない山地帶、ジャングル地帶を[illegible]の背後に進出[illegible]作つてゐる、ラングーン以北の[illegible]作戰に於いてはイラワヂ河谷を[illegible]の抵抗を排除しつつ[illegible]として活躍しプローム、エナンジョン附近に於いては主として夜戰、[illegible]英印軍の大部を殲滅したビルマの英印軍の抵抗[illegible]この[illegible]全く[illegible]しこの[illegible]は櫻井兵團の急追を受けつつ[illegible]全部を放棄しインドに[illegible]したのである、櫻井兵團のこの[illegible]戰果は[illegible]もまた[illegible]べきである[illegible]

國府に飛行機讓渡
七日嚴かに式を擧行
輕裝甲車も讓渡

【南京七日發同盟】國民政府に[illegible]する飛行機讓渡式は七日午前十時よりわが[illegible]部隊長、中國[illegible]

[illegible]

快速部隊の本領發揮
我が陸軍史上の華 渡邊兵團

【東京電話同盟】渡邊兵團は三月下旬[illegible]ラングーンに上陸[illegible]北部ビルマ作戰に[illegible]

[illegible]

敵遺棄死體一萬六千
兩兵團莫大な綜合戰果

【東京電話同盟】櫻井、渡邊兩兵團の綜合戰果及び交戰敵部隊は左の如くであり、兩兵團の戰果を綜合すれば遺棄死體一萬六千三百三十八、鹵獲戰車二百十九輛、自動車七千三百三十四輛といふ莫大なる數に達してゐる

[illegible]

兩兵團長略歷

[illegible]

長谷川總督
九日內湖庄へ

[illegible]

簡素化の諸勅令案
樞密院の審査終了す

【東京電話同盟】[illegible]

大東亞省等の勅令案
九日・樞府第一回審査會

[illegible]

特許技術の公開交流
産業技術の向上を圖る

【東京電話同盟】[illegible]

華北の日華軍官民
第五次治安强化運動展開

【北京七日發同盟】[illegible]

自用酒類携帶
上陸を許可

[illegible]

イラク内閣總辭職

【リスボン六日發同盟】[illegible]

カイロで殺
遣破壞事件

【イスタンブール六日發同盟】[illegible]

軍需品と資材供給
米英ソ三國議定書調印

【ブエノスアイレス六日發同盟】[illegible]

スターリン市
工場地帶堅固

【ベルリン六日發同盟】[illegible]

ヴォルガ河にも獨潜艦活躍

【ベルリン六日發同盟】[illegible]

人事

[illegible]

けふ第十回大詔奉戴日

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ衆庶ハ各〻其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑〻東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ丕顯ナル皇祖考丕承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尙未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス剩ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ增強シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ囘復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益〻經濟上軍事上ノ脅威ヲ增大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衞ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日
各國務大臣副署

王委員長以下に單獨接見を賜はる
嘉樂殿に午宴の御催し

【東京七日發同盟】[illegible]

大東亞戰爭完遂へ
實費の保險
千代田生命

毛利昌編 大東亞の日常會話 (各國語對照) ポケット型 五百頁 定價二・三〇
總假名つき
馬來・英・佛・スペインの日常生活を收む
東京市麴町區五番町七ノ五 中和會

日產火災
戰爭保險取扱指定會社
東京・丸ノ內

同文館 東京・小石川水道端一ノ三
水野武夫著 日滿支農業の基本問題
菱谷賢治郎著 食糧問題の基礎概念
水野武夫著 轉換期の商工經營
井上貞三著 新企業學
古川榮一著 經營比較論
鷲木 著 配給學の基礎研究
岡崎良信著 新興商品概說
佐藤弘著 商品學概說
柳昌平著 日本經濟の知識
宗田克巳著 應用地質鑛物
池田福江共著 化學商品辭典

(最新刊) 日本經濟の新構想 大連高商教授 柳昌平著 B6判三七二頁 價一・八〇 送・一五
色部武雄著 滿洲國商人通法概論 價一・三〇 送・一二

冨山房 新刊
【新經濟體制叢書】
戰時社會政策 上卷 九州帝國大學教授 經博 菊池勇夫郎著 B6判 價一・五〇
保險新體制 神戶商業大學助教授 白杉三郎著 B6判 價一・五〇
野々村戒三 安藤常太郎 校註 狂言三百番集 下卷 冨山房百科文庫
【好評重版】 現代英國史 タイ國史 彫刻の美 世界全圖
東京神田・神保町

けふ大詔奉戴日

社説

月を重ねて感奮愈よ新た けふ第十回大詔奉戴日

統制會に權限委讓 "經濟會議所"は府縣單位

當面の商工問題 商工省神田總務局長談

船舶運賃大幅引上 來春に特越される模樣

税關諸料金減免 規則を改正公布實施す

石炭礦區の調査 督府技術者が新竹州下で

南日本漁業會 社問題で 星野課長上京す

滿國經濟劃期的刷新 產業統制法を新に制定

石鹸、食用油 日本油脂が臺灣でコプラから

昭南を中心に漁場 マレー"水產業"の實狀

華北棉增產 各省平均五割を

內地農業移民 四十四戸を募る

乳牛廿五頭 內地から移入す

比島棉作の開發へ 技術員講習十日に修了式

琉球嶼を牧場化 東石郡の新計畫進む

東亞氷砂糖 製菓內認可

佛租界食米配給 發給切符賞に六十五萬

厦門錢莊業者 信託事業經營へ

局鐵貨物收入增 南送物資の增加が原因

英國引揚邦人座談會 (三)

兵隊が銃劍で警戒 迅速だつた"抑留の記"

迅速な手配

飼手

松川

山田

皆藤

磯野

徳田

商況 (七日)

株式 新東小浮動と推移

兜町前場況

兜町後場況

通風塔

東京長期前場

東京短期後場

東京長期後場

東京短期取組喰合

東京長期總取組

東京銀行實株

東京國債前場

大阪長期前場

大阪短期後場

橫濱生絲前場

橫濱生絲後場

不動產金融 日本勸業銀行 台北・台中・台南・高雄

支那の人的資源調査資料 日本戰時食糧政策 日本戰時經濟研究 伊藤書店

下痢に 即効を誇るワカ末は胃腸ときつてもきれない仲となりました 強力殺菌整腸劑 ワカ末

たむし 患部の周圍から丹念に內部の方へすりこんでおけば藥効が深部へ滲透して根もつかずきれいに癒ります
水虫 セーキンをすり込みガーゼを挾んでおけば皮下に潜伏する細菌を殺し痛み痒みもサラリと除かれます
いんきん 二三回セーキンをすり込めば頑固な痒さを防ぎムヅ痒さ、痛み、タダレも止り気持よく強皮が取れて快くなります
ひぜん 頑固な疥癬虫ですがセーキンをすり込んでおけばその優れた殺菌作用と鎮痒作用により日増しに快くなります
賽金膏 セーキン 竹村製劑所

一剤で三作用 ☆眼病を治す トラホーム ものもらひ 結膜炎 角膜炎 光線眼炎 やに目 雪目 こり目 ほし目 打ち目 はやり目 なみだ目 疲れ目 血目 ☆目を强く美しくする ☆紫外線の害を防ぐ
シマズニヨクキク 大學目藥
強い視力で職域奉公
職場に一滴 ― 家庭に一滴 ― 毎朝點眼

腦の病 不眠 肩凝り 便秘 酒の醉
二百錠一圓五〇・五百錠三圓五〇・千錠六圓五〇 (全國藥店に有)
リキシン
今村化學研究所

一歩進んだ簡易裁斷の 洋裁が…自宅で習へる

開業廣告

けふ大詔奉戴日

承詔必謹

一征戰必勝へ一億總進軍

〝譽の家〟を護りませう

譽れの家を護る日

けふ奉戴日の實踐事項

奉公委員參與錬成會

近く全島各支部で實施

一、會場

臺北會場 十四日―十六日

新竹會場 二十日―二十二日

臺中會場 十八日―二十日

臺南會場 十六日―十八日

高雄會場 十八日―二十日

靖國の新祭神遺族へ贈る

恒例の『靖國の繪卷』完成

花蓮港廳で農産增收講習會開催

花蓮港廳の獻穀米

捧持して上京

芝山巖祠の神社昇格基金へ

壁永翁毎月寄附

孔子祭典に參列した齋藤長官と桑井知事

噫・壯烈シドニー灣頭の華

一死報國君恩に酬ゆ

中馬海軍大尉日頃の信念

軍神岩佐中佐と同期生

尚武の國肥後の産れ松尾大尉

〝軍援〟に乙女の赤誠

基隆高女生の奉仕に勇士から禮狀

敢闘する海の勇士へ

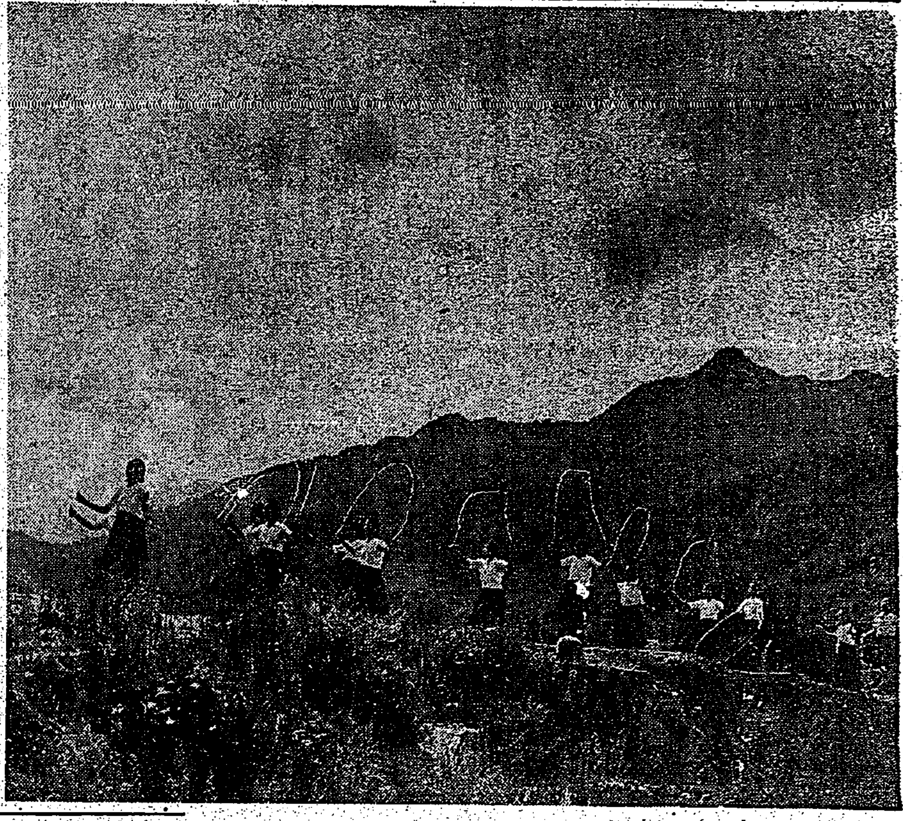
北二女生 海軍武官府に慰問文獻納

若人の體育錬成譜

臺大豫科と臺高で模範試合

軍援へ擧る一億の熱誠

きのふ各地で感謝慰問の行事展開



基隆市内青年層に第一種第一期訓練

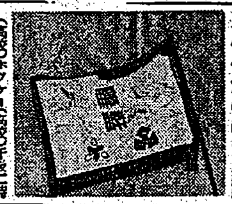
銃後女性進軍譜 (3)

明朗職場〝建設〟へ

某喫茶店の職場常會を覗く

常會未開催の奉公班一掃へ

一歩進んだ簡易裁断の洋裁が…自宅で習へる



白鳥印カーボン紙

デルモライツ 肩こりにしっぷ

文獻贈呈 結核 テルモツベリン

マレー戰記 力眞迫の激感な高崇 全十三卷
見よ!豪壯無比の大作戰を!
◇映寫時間◇ 十二時より連續四回興行
一般お客一回(十二時)四回(七時)の二回…二回三回は團體
只今上映中!十三日まで
東寶直營國際館

今日の映畫

大世界館	
臺灣劇場	
國際館	
芳乃館	
新世界館	

南方研究資料

ジャワ島全圖 定價 一、五〇
スマトラ島全圖 同 一、五〇
馬來語速修 同 一、五〇
馬來語(ボルネオ)現況 定價 三、八〇
友邦泰國ノ農村畜生諸問題 定價 二、七〇
泰國ノ土 同 二、〇〇
佛印ノ資源 定價 二、〇〇
比律賓鑛物資源 定價 二、四〇
南方華僑有力者名簿 同 一、五〇
セレベス事情概要 同 一、八〇
比律賓の畜産 同 一、五〇
海南島全圖 同 一、五〇
華僑概説 同 一、八〇
馬來語速修(ジャワ) 同 一、五〇
財團法人 南方資料館

從七位勳七等父永尾好郎儀病氣療養中の處藥石效無く十月六日午前七時三十分臺北帝大病院に於て永眠致候に付此段謹告仕候
追而告別式の儀は十月十日午後三時東勢街東勢東國民學校講堂に於て佛式に依り相營申候
男 永尾一睦
親戚 同芳

鹽水郵便局長 正七位勳七等 河合益太儀豫て病氣の爲臺南醫院に於て療養中の處藥石無效十月六日午前零時死去仕候間此段謹告仕候也
昭和十七年十月六日
男子 河合初宏
親戚 植野茂代
伊藤鎮三
石川榮三
友人代表 永野辰重

妻ミヨケ儀病氣ノ爲メ自宅療養中ノ處十月七日午前五時五十二分永眠致候間生前辱知各位へ此段謹告
昭和十七年十月七日
夫 橋本巖
親戚 橋本捨次郎
同 堀重喜

原口熊一殿豫而病氣靜養中ノ處十月七日午前二時死去仕候間生前辱知各位へ此段謹告致候
昭和十七年十月八日
大日本航空株式會社 臺北支所

父原口熊一儀豫而臺大附屬醫院ニ入院中ノ處療養不相叶七日午前二時死去仕候間此段謹告候也
昭和十七年十月八日
長男 原口泰紀
妻 千佐子
親戚 逢坂住次郎
立川祭

開業廣告 新竹驛前 近江屋旅館

看板 美容 電話 香港 保姆 尋人 獵犬 間求 貸間 給仕 結婚 京染 ライラフレックス カメラ 三春 電鍵 ラジオ ピアノオルガン ラジオ 撫擧 引越 クツ メガネ 冷藏 斷食 刀劍 温泉 ミシン 國民 バラ

逞し中國海軍建設
我海軍指導下に猛訓練
同甘共苦、大東亞共榮圏の確立へ

軍國乙女の純情
傷痍軍人へ嫁ぎ激勵す

不滅の武勳輝く
川西少佐以下の合同葬
十五日第四部隊營庭で執行す

〝魂〟なき〝人形部隊〟
米陸軍の擴充計畫全貌

相次ぐ敗退と

組織は正規軍

陸軍擴充計畫

大演習の講評

中堅幹部たる

不利の原因を

醜態を曝した

機械的生産で

兩英靈市葬
十三日宜蘭市で

故北村中尉
西山一等兵の竹東街葬十六日

國語常用記念獻金

臺南州警察部異動

農事關係團體統合
新竹州農林課で計畫す

山地開發と增産
新竹州の〝劃期的〟試み

羅東本願寺を改築

歸還勇士の座談會

屏東郡の國語演習

農組指導員
東港郡で訓練

代辦事務制度廢止

竹東神社祭典
十九日から執行

傷痍軍人を招待
阿里山で慰安會を開催

羅東神社祭典

災害殉難者
宜蘭郡市で執行

赤誠の獻金
軍司令部(七日受付)

國防獻金

恤兵金

獻品

ラジオ

愛の赤道 (207)
竹田敏彥
鄒竹仲一畫

二人の被害者(五)

臺灣の獨學青少年諸君へ……
自宅で習へる 中學講義錄
日本無代進呈
東京攻信學校出版部

癌の病に〝癌要方〟を

公奉で御心る預店の國

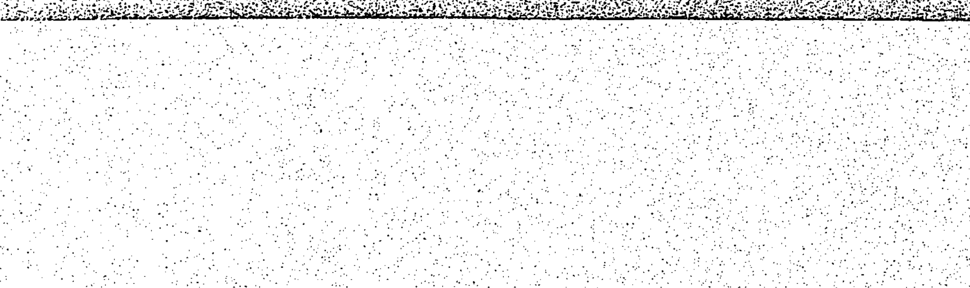
織物雜貨商　臺北市太平町三丁目　株式會社 菊元商行　電話二五一七・二三五八・二八五七番
綿布卸商　臺北市本町一丁目　株式會社 日進商會　電話二三四四・四三五一番
秋物呉服は　臺北市本町　福田呉服店　電話二一五四・三〇二四番
呉服類は　臺北市榮町二丁目　松井呉服店　電話二四一二・四一四五番
呉服商　臺北市榮町三ノ二二　藤井呉服店
各種玉糸類　藤井製綱營業所
綿布卸小賣商　臺北市太平町三丁目　株式會社 松井商行　電話四七八四番
時計と眼鏡　臺北市榮町三丁目　鎌野時計舖　電話二八二二・二九三七番
總ゆる賣藥新薬　臺北市榮町四丁目　廣生堂藥舖　電話二八二二・二九三七番

チーゼル ヤンマー エンジン
S型　H型　D型　DM型
山岡内燃機臺北支店

腸に 男
强力榮養源
エルビオゲン
本劑は我社獨特の培養法により創製された…
ライオン製藥

腑病まるく　てお困りの方は　有田ドラッグへ御相談下さい

治せ肺病　肋膜炎も同じ療法で

働く女性に多い生理の障害　正しく回復する
婦人薬新薬 エムサン

勝馬 算出 祕錄 奥傳 (見本進出)
病毒で困る人へ　私の治療藥を教へます
大興社